

<報道関係者各位>

2023年10月25日

AIリスク対策を手がける米国発スタートアップ・Robust Intelligenceが「AIガバナンスホワイトペーパー ver. 1.0」を公表

～国内外の業界リーダーとの協業実績をもとに、企業のAIガバナンスの論点を包括的に整理～

リスクを適切に管理したAIモデルの運用、“AI Integrity”の実現をめざすシリコンバレー発のスタートアップ・Robust Intelligence, Inc. (本社: 米国カリフォルニア州、CEO: ヤローン・シンガー、Co-Founder: 大柴 行人、以下: ロバストインテリジェンス)は、2023年10月25日に「AIガバナンス ホワイトペーパー ver. 1.0」を公表しました。



この「AIガバナンスホワイトペーパー ver. 1.0」では、生成AIブームの中でこれまで以上に顕在化しているAIリスクの全体像とそれに伴って変動する各国の政策動向、そして日本企業が考えるべきAIガバナンスの論点について、ロバストインテリジェンスの知見をもとにまとめています。本ホワイトペーパーは、以下リンクより無料でダウンロードいただくことができます。

- ホワイトペーパーのダウンロードページ: [AIガバナンスホワイトペーパー ver. 1.0](#)
- ホワイトペーパーの概要を解説したブログ記事: [より良いAIガバナンス実装に向けて～「AIガバナンスホワイトペーパー ver. 1.0」の概要～](#)

ロバストインテリジェンスは、AIの開発段階から運用段階まで一貫してテストベースでリスク検証を行うプラットフォーム”Robust Intelligence Platform”を提供し、国内外の政府系機関・産業界トップの企業におけるAIモデルの安全なデプロイをサポートしています。また、企業のガイドライン等の策定を通じた組織・プロセス変革の支援も実施しています。

本ホワイトペーパーでは、こうしたロバストインテリジェンスの知見をもとに、以下のような事項について包括的に記載しています。

- 「AIリスク」の全体像と、それに関わる政策動向(1章～2章)
- AIリスクを管理し、適切なガバナンスを行うために企業が検討すべき論点(3章)
- AIガバナンスにおいて有効なアプローチ(4章～7章)

本ホワイトペーパーが、各企業がAIガバナンス構築を検討するきっかけとなれば幸いです。

ロバストインテリジェンスは今後も、AIリスクに対応する企業のガバナンス構築を支援するとともに、日本市場におけるAI利活用の推進を図るべく、産業界における知見の共有・蓄積や政策に関する議論等にも積極的に関与していきます。

【Robust Intelligenceについて】

Robust Intelligenceは、2019年にハーバード大学の研究者らが創業したスタートアップ企業です。これまでに世界最大のベンチャーキャピタルであるSequoia Capital等から累計80億円を調達し、AI Securityの実現に向けたAIリスク管理のソリューションを提供しています。

サンフランシスコに本社を置き、アメリカにおいてはJPモルガン・チェース、エクスペディア、米国防総省など、日本国内においては東京海上ホールディングス、NEC、楽天グループ、LINEヤフー、リクルート、SOMPOホールディングスなどの業界リーダーから信頼を得ています。

Robust IntelligenceのAIリスク管理プラットフォームは、AIのライフサイクル全体を通じてモデルとデータに対して何百もの自動テストを実施し、品質面、倫理面、セキュリティ面のリスクを未然に防ぎます。

【Robust Intelligence会社概要】

- ・設立年 : 2019年
- ・所在地 : US 555 19th Street San Francisco, CA 94107
- ・従業員数 : 70人
- ・代表者 : CEO & Co-Founder Yaron Singer, Co-Founder Kojin Oshiba(大柴 行人)
- ・主な投資家 : Sequoia Capital, Tiger Global, Engineering Capital, Harpoon Ventures, In-Q-Tel
- ・URL : <https://www.robustintelligence.com/>
(日本語版 : <https://www.robustintelligence.com/jp>)